

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願ひ

虎の門病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

失語症を呈した方の全般的知的能力を測定するための立方体透視図模写課題の可能性について

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月1日から2019年4月30日に当院で言語聴覚療法を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

リハビリテーションを実施するにあたって、セラピストは対象者の理解力や実行力をなるべく早く把握する必要があります。脳出血などの脳血管疾患で失語症を呈した方のこういった能力を把握するためには、言葉を用いた問診型の検査を使用することができません。問診型検査に代わり簡便に実施できる非言語的検査の開発が急務となっております。

そこで、私たちは以前から用いられている立方体透視図を模写する課題に注目しました。これは、立方体透視図という簡単な図形を模写してもらう言葉を用いない検査です。本研究で用いる情報や検査結果はすべて通常業務の範囲で実施されています。これらの情報・検査結果を診療記録から抽出・解析を行い、立方体透視図模写課題の失語症を呈した方の知的能力を測定できる検査としての有効性について検討を行います。

#### 研究期間

2019年6月1日～2021年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病名、病状、利き手、各検査結果

#### 4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の保護のため、取得した診療情報は個人情報管理責任者が匿名化情報（個人情報を含む）にします。すなわち、診療情報から個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し、独自の記号を付すとともに対応表を作成します。これによりどの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう加工します。得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。

また、匿名化情報は、虎の門病院リハビリテーション部（提供元）から昭和大学保健医療学部作業療法学科（提供先）へ手渡しで直接渡します。

提供元は、得られた全ての情報を本研究終了時に研究の中止または終了後少なくとも5年間、あるいは研究結果発表後3年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存・管理します。提供先は、得られた全ての情報を提供先の学部長 下司映一の責任において研究終了後5年間保存・管理します。

なお、得られた成果は、個人情報保護に配慮したうえで学会や論文に発表されることがあります。

#### 5. 研究組織

昭和大学保健医療学部作業療法学科 作田浩行

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 土橋三枝子

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

##### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：リハビリテーション部言語聴覚室 氏名：土橋三枝子（言語聴覚士・研究責任者）

住所：東京都港区虎ノ門2-2-2 電話番号：03-3588-1111（代表）

##### 研究代表者：

所属：昭和大学保健医療学部 氏名：作田浩行

住所：横浜市緑区十日市場町1865 電話番号：045-985-6500（代表）